

保健婦だより

14

ツツガムシにご用心

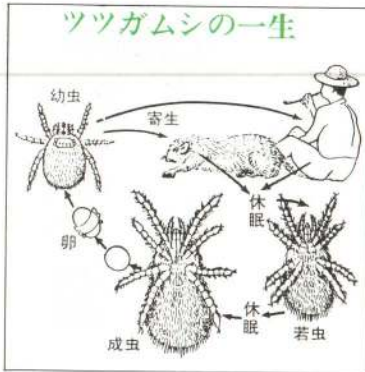
今年はや暖冬でしたので、山などの雪解けが早く、山菜採りシーズンには例年より早くなりそうです。

この時期、注意しなければいけないのが「ツツガムシ病」。今年、ツツガムシの出現も早く、当市では三月二十四日に発生しています。

これからは屋外での活動が多くなりますので、「ツツガムシ病」には十分気をつけましょう。

原因と病原体

ツツガムシ病の病原体は「ツツガムシ病リケツチア」と言います。親虫から受け継いだこのリケツチアを、体内にもついている「ツツガムシの幼虫」に刺さ



れた時にだけ発病します。

リケツチアは親虫から代々伝達されますが、幼虫がリケツチアを持っている割合は、千分の一から五百分の一と言われています。

刺されたときの症状

ツツガムシが好んで刺すのは、体の皮膚の軟らかいところ。刺し口は赤くはれ、ヒリヒリしたり、衣服でこすれた時などチカッと鋭い痛みを感じることもあります。そして刺し口は、水ぶくれ、潰瘍、かさぶたと変化していきます。

さらに、刺されて一週間くらいすると、全身のだるさ、食欲低下、頭痛、高熱などの症状が現れます。このような症状が出たなら、すぐに医師の治療を受ける必要があります。

ツツガムシ病の予防

ツツガムシ病を予防する絶対的有効、適切な手段は今のところありません。大切なことは刺されないように注意することです。

野山に出かけるときは、次のことに気をつけましょう。

- (1) できるだけ皮膚を露出しない服装にし、長ぐつやゴム手袋を着用する。
- (2) 帰宅後は必ず入浴し、衣類を取り替える。
- (3) 脱いだ衣類は部屋に持ち込まないで、洗濯か日光消毒する。
- (4) 戸外で人の集まる場所(芝生広場など)に殺虫剤(ダニ忌避剤)を散布する。

なお、「ツツガムシ病」かどうかは、詳しい検査をしなければわかりません。ちよつとでもおかしいなと思ったら、すみやかに医療機関に相談し、早期治療を受けるようにしましょう。

ちびっこギャラリー

おとうさん

釈迦内保育園



ささき さやかちゃん
おとうさんのかおがすきな。



すずき かずひとちゃん
すもうをするとき、ときどきだけどボクがかつよ。



はたけやま まみちゃん
おとうさんは、すこくちからかつよいの。

銅板ぶき屋根にしませんか

市の地場産業である鋳業を振興するため、鋳山から産出される銅の消費拡大を図ろうと、昭和六十年から「屋根銅板ぶき推進補助金制度」が設けられています。

- ◇銅板ぶき屋根の利点(カラー鉄板ぶきと比較して)
 - ①腐食しにくく耐用年数が長い
 - ②ペンキの塗り替えがいらない
 - ③強風や地震に強い
 - ④熱の伝導率が大きいので、雪が早くとける
- ◇補助金の算出方法

銅板ぶきとカラー鉄板ぶきの差額五千二百九円(一㎡当たり)に、使用した銅板ぶき面積を掛けて得た額の四四%で、最高限度額は二十五万円です。

〔例〕銅板屋根の面積が百平方メートルのときは、二十二万九千円が補助額となります。
- ◇申し込み及び問い合わせ

市都市開発課(内線311)